

令和4年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日時 令和4年11月17日(木) 午後3時～午後4時
場所 大船渡市役所 教育委員会会議室
出席者 運営委員会委員 4名
鎌田慎委員、佐藤和生委員、菊地尊委員、船渡定子委員
大船渡市
生涯学習課：課長、課長補佐、主事
中央公民館：館長補佐、主事
学校教育課：学務係長

〔会議内容〕

1 開 会

2 協 議

第1号 令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

〈意見・質疑応答〉

【英語スクール、家庭教育学級、青少年体験学習事業について】(P3-22)

- ・ (船渡委員) 青少年体験学習について、陶芸教室は令和3年度も実施していたが、昨年度参加した人が今年度も続けて参加することは多いのか。(P17-22)
- (中央公民館) 多い程ではないが、一定数いる。未就学児が1年生になるなど、対象者も成長するので、変化していく。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】(P23～30)

- ・ (鎌田委員長) スクールガード配置事業の毎月提出する活動報告書についてだが、現在は1日の活動につき1箇所押印する形式である。1カ月の活動につき1箇所押印にするなど、事務の簡略化はできないか。
- (生涯学習課) 謝金が生ずるものなので、課内で検討したいと思う。
- ・ (鎌田委員長) 吉浜小学校では、今年度からスクールガードを7人配置している。低学年の保護者が自分の子どもと登校していることが元々多かったので、他の子ども達の見守りもお願いしたところ、引き受けてくださった。スクールガードの活動が楽しいという声も聞く。横断歩道などや決まった場所で、旗を振って車や子ども達の誘導をするなどの堅苦しいイメージを変えていけば、担い手は増えると思う。

【学校運営協議会設置事業について】(P31-32)

- ・ (鎌田委員長) 校長会で聞く悩みとして、中学校は地域コーディネーターの人材が中々見つからない。第一中学校では統合による中学校区の拡大で、特に難しいと聞いた。吉浜小学校のように単一コミュニティなら問題ないが、地域コミュニティと学区が合致していないところは、地域と学校が一体となって活動を進めるのが難しいと感じる。

皆さんの地域で、コミュニティ・スクールによる取組について何か聞こえてくるものはあるか。また、どのような状況であるのかお伺いしたい。

- ・（菊地委員）立根小学校で、コミュニティ・スクールに携わっている人達が負担に感じている様子はない。逆に、活動が待ち遠しかったり、生きがいになっている。活動の中で地域の子ども達を知り、スタッフの中で新たな交流が生まれ、地域にとっても、良い効果が生まれている。

中学生は職業を選択する将来が近づいている。第一中学校で行っている1日職場体験など、地域の企業との繋がりは大変だと考える。このような取組はまちづくりにも繋がるので、どんどん企業を巻き込むべき。

- ・（鎌田委員長）学区が広いことを生かして、様々な企業と連携することで、まちづくりに繋げていければいい。
 - ・（佐藤委員）大船渡北小学校では、11月25日(金)に3回目の学校運営協議会を開催する。1回目は顔合わせをし、2回目では防災関連など、委員からたくさん意見をいただいた。ただ、本校の悩みは、地域コーディネーターが決まっていないこと。「あの人に頼めば…」という声は会議中に出るが、委員にその依頼はお願いしづらい。地域コーディネーターがいれば、その役割を担ってくれるため、配置したい。
 - ・（鎌田委員長）吉浜小学校には地域コーディネーターが配置されているため、学校の要望に対して、すぐ地域の人に声掛けしてくださる。手芸や干し柿づくりの際には5人程来ていただいた。声掛けすれば来る人はたくさんいる。ただ、地域コーディネーターを学校で探すのは難しい。教育委員会や生涯学習課で見つけていただけないだろうか。
- （生涯学習課）教育委員会とも相談し、検討する。
- ・（鎌田委員長）資料32ページに、「活動費に係る一部補助が受けられる」とあるが、どのような手続きで補助を受けられるか。
- （生涯学習課）学校には通知済みであり、学校からの事業計画書を受け、事業承認を通知した後、各校1万円を上限に、教育振興運動(学校運営協議会)の取組に関する消耗品費を当課で支出することとした。消耗品を業者に発注する際、請求書は生涯学習課宛に、納品は学校としている。

3 その他

事務局から、第3回運営委員会の開催を2月に予定している旨、報告。

4 閉 会